

委員会報告

禁煙推進委員会報告

「たばこ箱の画像警告表示への口腔画像の採用について」

埴岡 隆 稲葉 大輔<sup>1)</sup> 平田 幸夫<sup>2)</sup> 筆石 聰<sup>3)</sup> 川口 陽子<sup>4)</sup>

口腔衛生会誌 57 : 136-138, 2007

たばこ規制条約における警告表示と政府の対応

たばこの規制に関する世界保健機関枠組み条約（たばこ規制条約）が2005年2月27日に発効した。同条約には、第11条の「たばこ製品の包装及びラベル」に、1(b)「たばこ製品の個装その他の包装並びにあらゆる外側の包装及びラベルには、たばこの使用による有害な影響を記述する健康に関する警告を付するものとし、また、他の適当な情報を含めることができること」として、「これらの警告及び情報は、(v) 写真若しくは絵によることができ、又は写真若しくは絵を含めることができる」と記載されている。

日本政府は、同条約への批准に際して国内の体制を整備する必要があることから、厚生労働省関連では健康増進法に受動喫煙対策が盛り込まれた。また、財務省では2002年10月に財政制度等審議会が「喫煙と健康の問題等に関する中間報告」のなかで、「たばこの包装への表示の在り方」として、専門家を中心としたワーキンググループを設置し、専門的観点から具体的に注意文言の見直しを進めることが適当とされた。

日本口腔衛生学会の対応と国内のたばこ箱表示

日本口腔衛生学会は、2003年3月19日に、財務省たばこ事業部会の注意文言の見直しに関するワーキンググループの委員に対し、①学会禁煙宣言、②喫煙の口腔の健康への影響、③喫煙と歯周病の関連についての国民の知識、④口腔への喫煙の影響が未成年者の喫煙意識に及ぼす影響、⑤たばこ箱における口腔影響表示の役割につ

いての意見を述べた。さらに、②喫煙の口腔の健康への影響に関して、「口腔の健康への喫煙の影響」に関しての国民の知識はまだ低く、また、未成年者が、「社交面に関わる口腔症状への喫煙の影響」に対して敏感であることから、喫煙を始める者への情報提供および未成年者の喫煙率の低下、ひいては、たばこ消費の低減を目的として、たばこ箱に喫煙の口腔への影響を、文字および画像で示し、警告が行われるよう提言する書類を提出した。同年5月に開催された第7回ワーキンググループの議事録には、口腔疾患に関する研究成果として報告されたとの記述がある。

現在の日本のたばこ箱の表示は、依然として「注意文言」の取り扱いとなっており、画像は用いられていない。その内容は、紙巻たばこについては、具体的な疾患として、①肺がん（原因の一つ）、②心筋梗塞（危険性を高める）、③脳卒中（危険性を高める）、④肺気腫（悪化させる危険性を高める）のグループから、また、①妊娠中の喫煙の胎児の発育障害や早産（原因の一つ）、②受動喫煙の健康悪影響、③ニコチンの依存性、④未成年者の喫煙（健康影響・依存の強化）のグループから、それぞれ一つずつの注意文言がたばこ箱の表裏に表示されている。また、かみたばこ・かぎたばこにおいては、口腔がん（原因の一つ）および心筋梗塞・脳卒中（危険性を高める）の表示が必ず行われている。

たばこ箱警告表示の諸外国の現状

カナダでは、たばこ規制条約発効前から、たばこ箱への画像による警告表示が行われている。カナダの表示画

福岡歯科大学口腔保健学講座

<sup>1)</sup>岩手医科大学歯学部予防歯科学講座

<sup>2)</sup>神奈川歯科大学社会歯科学講座

<sup>3)</sup>大阪大学大学院歯学研究科予防歯科学教室

<sup>4)</sup>東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科健康推進歯学分野



図1 諸外国のたばこ箱の警告表示に採用された口腔の画像

像は16種類で、個々の画像は、さまざまな年代の喫煙者、たばこ販売業者等を対象としたフォーカスグループインタビューにより決定された<sup>1)</sup>。電話調査の結果、禁煙に最も効果的であると回答した市民の割合が高かったのは、口腔と肺がんの画像であった<sup>2)</sup>。画像による警告表示により、喫煙の健康への悪影響の知識が向上することが、カナダ国民と、画像による警告表示がまだ採用されていなかったオーストラリア、米国、英国の喫煙者との比較で確かめられた<sup>3)</sup>。また、喫煙者の追跡調査でもポピュレーションストラテジーとしての有効性が示された<sup>4)</sup>。一方、こうした画像による警告表示が喫煙者への恐怖心を煽ることが予想されるが、喫煙者の約半数が恐怖心や不快感を示したが、こうした喫煙者ほど禁煙や節煙行動の割合が高く、政策決定者がこの理由で立法化を躊躇すべきでない<sup>5)</sup>と結論している<sup>6)</sup>。オーストラリアでは、たばこ箱の画像警告表示とメディアを通じた禁煙キャンペーンが一体化して行われ、電話による大規模追跡調査で、ポピュレーションアプローチとして効果的であることが示された<sup>6)</sup>。

その後、多くの国で画像による警告表示が採用されている。これらの国の大部分では、口腔の画像も採用された(図1)。韓国の複数の報道機関は、保健福祉部が2007

年3月に提出した国民健康増進法の改正案に、たばこ箱への画像による警告表示が盛り込まれ、口腔の画像も採用されると発表している。効果のあることが保健省の調査により実証されたことから画像警告表示の採用にいたったことが説明されている。隣国の韓国のたばこ箱への画像による警告表示の採用は、わが国のたばこ対策に影響を及ぼすものと思われる。

### 口腔保健分野での禁煙推進

これらの画像警告表示に関する報告から、口腔保健分野として2つの意義が考えられる。ひとつは、「健康日本21」の中間評価報告で示された国民の喫煙の健康影響に関する知識で、歯周病への影響の知識は8ポイント増加したものの、依然35.9%と低いことから、国民の知識を向上させる必要がある。もうひとつは、元喫煙者の調査では画像による警告が禁煙に効果的であり<sup>7)</sup>、さらに、若年喫煙者の調査でも効果的であった<sup>8)</sup>ことから、若年成人が受診する機会があり、喫煙者の身体影響を直接見せることができ、健康への関心が高まる機会でもある歯科臨床における禁煙の効果的な導入<sup>9)</sup>を推進することである。

文 献

- 1) Strahan EJ, White K, Fong GT et al. : Enhancing the effectiveness of tobacco package warning labels : a social psychological perspective. *Tob Control* 11 : 183-190, 2002.
- 2) Environics Research Group. Baseline surveys : The health effects of tobacco and health warning messages on cigarette packages. Report for Health Canada. Ottawa, Ontario : Health Canada, 2001.
- 3) Hammond D, Fong GT, McNeill A et al. : Effectiveness of cigarette warning labels in informing smokers about the risks of smoking : findings from the International Tobacco Control (ITC) Four Country Survey. *Tob Control* 15 : 19-25, 2006.
- 4) Hammond D, Fong GT, McDonald PW et al. : Impact of the graphic Canadian warning labels on adult smoking behaviour. *Tob Control* 12 : 391-395, 2003.
- 5) Hammond D, Fong GT, McDonald PD et al. : Graphic Canadian cigarette warning labels and adverse outcomes : Evidence from Canadian smokers. *Am J Public Health* 94 : 1442-1445, 2004.
- 6) Wakefield M, Freeman J, Donovan R : Recall and response of smokers and recent quitters to the Australian National Tobacco Campaign. *Tob Control* 12 (Suppl II) : ii 15-ii 22, 2003.
- 7) Hammond D, McDonald PW, Fong GT et al. : The impact of cigarette warning labels and smoke-free bylaws on smoking cessation : evidence from former smokers. *Can J Public Health* 95 : 201-204, 2004.
- 8) O'Hegarty M, Pederson LL, Nelson DE et al. : Reactions of young adult smokers to warning labels on cigarette packages. *Am J Prev Med* 30 : 467-473, 2006.
- 9) Hanioka T, Ojima M, Hamajima N et al. : Patient feedback as a motivating force to quit smoking. *Community Dent Oral Epidemiol* 2007 (in press).

著者への連絡先 : 埴岡 隆 〒814-0193 福岡市早良区田  
村 2-15-1 福岡歯科大学口腔保健学講座  
TEL&FAX 092-801-0616  
E-mail : haniokat@college.fdcnet.ac.jp